

令和 8 年度第 1 回三鷹市商工振興対策審議会 会議録

- 開催日：令和 8 年 7 月 28 日（火）午後 4 時 00 分から午後 5 時 30 分まで
- 会場：三鷹市教育センター 2 階 第二中研修室
- 出席委員：平野委員、望月委員、上原委員、額田委員、姜委員、佐伯委員、高橋委員、倉林委員、内藤委員、酒井委員、吉田（純）委員、蒲谷委員、北委員、関口委員、大倉委員、太田委員、岩見委員、中泉委員、大城委員
- 傍聴者：なし

1 開会

【出席状況の確認】

・開会時点で委員定数 20 名中 19 名の出席をもって、過半数を超えているため、三鷹市商工振興対策審議会条例第 6 条第 2 項に基づき会議は成立。

【会議の公開及び傍聴人の決定について】

・三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例第 6 条に基づき、会議開催の事前公表を令和 8 年 7 月 17 日よりホームページにて実施し、7 月 24 日午後 5 時まで傍聴希望者を募集した。

・傍聴希望者なし。

【会議録について】

・三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例第 9 条、第 10 条に基づき会議録を作成し、決裁後閲覧に供する。

2 議事

【(1) 報告事項 ア 三鷹市産業振興計画 2027 の進捗状況について】

<事務局より説明>

・資料 1 及び 2 により説明

【(1) 報告事項 イ 三鷹市事業承継支援事業について】

<事務局より説明>

・資料 3 及び 4 により説明

<質疑・応答>

[委員]

・事業承継手続きを進めるにあたり、許認可に関して十分に考慮されないまま進めてしまうケースが見受けられる。資料4「三鷹市事業承継アンケート調査」（以下、アンケート調査）問7の選択肢に、「許認可に関する手続きの方法が分からない」といった選択肢があってもよいのではないか。

[委員]

・アンケート調査問5について、事業承継を考えている経営者の理想と現実の間には乖離があり、経営状況も様々であるため、希望を抱いていても家族の説得や前提条件がすぐに整うわけではない。回答方法に優先順位をつける方式にして現状を把握してはどうか。

・アンケート調査問9について、マッチングサイトへの掲載は、事業者が自分の要望を整理してサイトに掲載する作業自体に大きなエネルギーがかかる。この作業を誰がどのタイミングで行うのかを明示しておかなければ、掲載へのハードルが高くなってしまうため、市側がお手伝いするというニュアンスを持たせた明示が必要ではないか。

[事務局]

・マッチングサイトへの掲載は、事業者のニーズに応じて、市および委託事業者が取材活動を通じて行うことを想定している。しかし、ご指摘のとおり「自分でやるのは大変だから敬遠しよう」という潜在的な思いを拾えない聞き方になっているため、いただいたご意見を参考に、質問内容を工夫してアンケートに臨みたい。

[委員]

・アンケート調査問5の選択肢にある「④第三者承継」と「⑤従業員承継」は、第三者承継のハードルがより高いため、順番を逆にした方がよい。

[委員]

・回答方法としてWEBフォームが挙げられているが、事業を承継される方はご高齢の方が多いため、QRコード等による回答がそもそも可能なのかという懸念がある。紙媒体での回答など多様な方法を用意した方がよいのではないか。

[事務局]

・郵送等による紙媒体での回答も可能としている。多様な方の声が拾えるよう進めていく。

[委員]

- ・アンケート調査問2の「従業員数」について、役員が含まれるのかどうかなど回答時に混乱が生じる恐れがある。他の統計との整合性を考慮すると、「役員や家族従業者等を含む全体の従業者数」という定義にしておいた方が、答える側が混乱しない。
- ・アンケート調査問3について、③の選択肢の単位を「人」から「歳」に修正。
- ・アンケート調査問7の選択肢②について、「後継者」と表現する場合はすでに後継者であることが前提となるため、「後継予定者」や「後継候補者」とするのが適切。また、アンケート調査問7の選択肢に、「後継者と経営のあり方についての意見が合わない」という選択肢を加えてほしい。

[委員]

- ・アンケート調査は、4,500者に郵送で行うのか。
- ・アンケート調査は、問1の業種に対し、どのような割合で配布を想定しているか。

[事務局]

- ・4,500者は市内全事業者を想定しており、業種別に割合を設定するというよりは、把握し得る全事業者の皆様に向けて郵送でご案内する。回答にあたっては、WEBフォームの回答に加え、紙媒体での返送も可能としている。

[委員]

- ・アンケート調査問8について、専門家による訪問支援は、どのような方にどこまでアプローチしていくのか。

[事務局]

- ・訪問支援のアプローチについては、アンケートの結果次第で今後詳細を詰めていく。訪問支援に対して前向きな回答をされた事業者に対しては、委託事業者と連携しながら個別に詳しい話を聞き、実際の支援へ繋げていくことを想定している。ただし、回答数によっては、緊急度などを考慮しながらサポートしていく方針。

[委員]

- ・アンケート調査の回収率について、過去の経験上、郵送のみではそれほど高まらないのではないかと懸念している。郵送するだけでなく、例えば商店街を通じてアンケート実施を周知するなど、多面的な工夫が必要だと思うが、そのあたりの考えはどうか。

[事務局]

・広報誌や、商工会の商工ニュースへの掲載など、多くの皆様にご回答いただけるよう工夫をしていく。

[委員]

・興味がある方や意識が高い方からは回答を得られると思うが、回収率を上げるのは大変であるため、しっかりと検討いただきたい。

【(2) 意見交換 今後の産業振興施策について】

<事務局より説明>

・資料5により説明

<意見交換>

[委員]

・事業承継は、経営者側に「自分はまだやれる」や「後継者が育っていない」という意識のギャップが存在する。そのため、相談窓口やセミナーを開いても、一定のマンパワーを割かなければなかなか相談や参加につながりにくいという現実がある。こうした実態を踏まえ、アンケート調査を実施してもすぐに期待通りのリアクションが得られるわけではない点を考慮しつつ、お互いに連携して取り組んでいきたい。

[委員]

・介護事業所は今回の支援対象に含まれるか。

[委員]

・サービス業に分類されるため対象となる。

[委員]

・事業承継は早めに勉強することが必要であるため、工業の分野でも周知啓発をしていきたい。

[委員]

・事業承継の問題は、企業の問題だけでなく、それに関わる消費者である市民の問題でもあることを、市も認識して取り組んでもらいたい。

[委員]

・広報みたか6月21日号に掲載された商店会のマップを見て、商店会が三鷹駅周辺などに偏っており、北野や深大寺といった地域が含まれていない点に気付いた。商店街の振興はもちろん重要だが、それを利用する住民側の視点も大切である。現在、猛暑により外出が困難な状況となっているが、北野や新川などは緑や農村地帯があり非常に良い環境であるため、そうした地域において、近場で利用できる集まりの場作りや移動販売を行い、ゆくゆくは地域店舗への誘導にもつながるような事業展開はできないか。

[委員]

・例えば第三日曜日等の開催日時を決めて、有志で新川や北野等で実施し、それが段々広まればよい。いただいた意見を持ち帰り検討する。

[委員]

・企業の人材不足については、現在働いていない潜在的な労働力をいかに発掘していくかが課題である。例えば、フルタイムでは働けないが働く意欲のある子育て中の女性や、社会復帰を目指す方々が活躍できる場をどう作っていくかという視点を取り入れていくべき。

[委員]

・市民団体や地元大学生などによって、構想から約5年を経て完成した「みたか緑と水マップ」がある。「鷹の目」で三鷹全体を捉え、非常に魅力的にまとめており、市民である自分が三鷹全体をいかに把握できていないか痛感させられた。観光を外部からの誘客と捉えがちだが、そのためにはまず市民自身が三鷹の魅力を、各地域がバラバラではなく全体を俯瞰できるようにすることが重要であると考え。市民や事業者が「鷹の目」で三鷹を捉えるにはどうしたら良いか意見を伺いたい。

[委員]

・地図のように三鷹市、調布市や世田谷区など市境にとらわれず、隣接する自治体も含めて俯瞰して考える視点（鷹の目）が大切ではないかと感じた。三鷹市内にとどまらず、周辺地域も巻き込んだ政策連携が必要ではないか。

[委員]

・移動販売について、大沢地区等でとくし丸の運用を行った。売上にも繋がるが、個人事業主ならともかく、人件費高騰の時代に個店が設備投資を行うことや、雇用することは収益的に非常に厳しいものがある。また、働き方の多様化に伴い、タイミー等のスキマバイトの活用などに取り組む企業も見られるが、企業の業務レベルが以前より高度化しているため、新規雇用者がその業務を円滑に遂行するのは難しくなっている。その上、大手上場企業との給

与水準の格差があり、優秀な人材がそちらに流れてしまうという課題がある。

[委員]

・工業の分野では、これまでパートタイムで働いてきた女性達を、フルタイムでなくても主軸業務を担えるよう育成する取り組みを実施している地域もある。サービス業や商業においても取り組んでいくべきである。

[事務局]

・資料訂正

資料2「三鷹市産業振興計画2027の進捗状況について」

P14 施策の柱⑥「みたかブランドの創出・推進」①市ホームページ「三鷹の魅力」の閲覧数
誤：36,392人（令和7年度末現在）

正：33,764人（令和7年度末現在）

・アンケートの周知方法について、市では次年度の支援メニューを紹介する「商店街連絡会」の開催を予定しており、その場でも8月からのアンケート実施について周知を図る。本日も参集の委員の皆様におかれましても、事業者の皆様へお伝えいただきたい。

【(3) その他 関係団体からの報告】

<三鷹商工会>

- ・第59回 三鷹阿波おどりについて
- ・三鷹でちょい呑みハシゴ酒について

<まちづくり三鷹>

- ・ミタカサクセススゴロクについて

<みたか観光協会>（本日欠席のため、事務局より紹介）

- ・みたか観光BASEについて

【事務局より】

- ・次回開催は令和9年2月を予定している。
- ・令和8年7月30日をもって任期満了となる。

3 閉会